

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)11月15日 No.1108

## 目次

マクロ的視点からみたロシアの経済危機.....	坂口泉 1
スロバキア閣僚人事.....	9
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	9

## マクロ的視点からみたロシアの経済危機

はじめに 本レポートでは、キャッシュフローの面から見たロシア経済の特殊性を起点に、今回の経済危機がロシア経済に及ぼした影響、ならびに、ロシア経済の今後の課題について考察する。

### 1. ロシア経済の(キャッシュフローの面における)特殊性

マクロ的視点からみると、ロシア経済におけるキャッシュフローは明らかに異常である。図式的に言えば、経済がいくつかのセクターに分断されており、一部のセクター間ではほとんどキャッシュの交流がない。そして、(輸出競争力のない)生産財を生産する産業分野においては、キャッシュではなく疑似通貨が大手を振って流通し、疑似通貨がキャッシュを駆逐するという現象が生じている。

このような経済構造下では、西側経済の常識は通用しない。たとえば、ある時期、国債の利回りを下げれば、ロシアの商業銀行は、国債への投資をやめ、リアルセクターへの投資(融資)を行うようになるであろうといった意見が多く聞かれた。理論的には、この意見は全く正しい。しかし、ロシアの商業銀行あるいはロシアの生産財生産分野の実情をまがりなりにも知っている者は、そのような意見に素直に首肯できなかった。少なくとも、生産財生産分野に、商業銀行の資金が流れていくとはとても思えなかった。それは、次の理由による。

(1) 今回の経済危機でその実態が露呈されたように、ロシアの大手商業銀行の国債への依存度